

## 呼吸器科ローテーション研修目標

呼吸器感染症から悪性疾患までと肺血管系異常を伴う病態、疾患まで、広範な疾患を全身の他臓器との関連を考慮しつつ鑑別診断と治療をおこなう能力を身につける

### 1. 鑑別診断と治療を的確に実施できるように

吸器系の構造と機能について述べるができる。

吸生理（ガス交換、肺循環、呼吸不全など）について説明できる

主要症候（咳、痰、血痰、呼吸困難、喘鳴、胸痛など）の病態について説明することができる

### 2. 鑑別診断するうえでの確に患者の理学所見を記述することができる

視診：換気の状態、胸郭の異常、頸静脈怒張、ばち指、チアノーゼ、浮腫などを指摘できる

触診：リンパ節腫大、握雪感、声音振盪などを診察できる

聴診：正常呼吸音、連続性ラ音、断続性ラ音、胸膜摩擦音などを聴取できる

### 3. 鑑別診断、治療効果判定するための専門的検査の適応と実施ができる

画像診断：胸部X線写真、CT、MR、各種シンチグラムの指示と読影ができる

内視鏡検査：気管支鏡検査の指示と結果の解釈。気管支・肺区域がわかる

動脈血採血施行と血液ガス分析結果の解釈ができる

喀痰検査の指示と結果の解釈ができる

自己抗体、腫瘍マーカーなどの特殊血液検査の指示と結果の解釈ができる

呼吸機能検査の指示と結果の解釈ができる

胸水試験穿刺の施行と結果の解釈ができる

### 4. 呼吸器疾患の薬物治療および非薬物治療の適応がわかり実施できる

薬物治療：抗生剤、気管支拡張剤、ステロイド剤、鎮咳去痰剤、モルヒネを含む鎮痛剤などの投与方法、副作用について理解し、処方することができる。

吸入療法：ステロイド剤、刺激剤、抗コリン剤などの吸入療法、副作用について理解し、処方することができる。

肺癌治療：手術、化学療法、放射線治療などの方法、適応の決定、副作用、合併症などについて理解し、施行または他科への依頼ができる

酸素療法：投与方法とCO<sub>2</sub>ナルコーシスの危険性について理解し、酸素を投与できる。

人工呼吸管理：侵襲的（挿管）および非侵襲的人工呼吸管理の方法について理解し、基本的な人工呼吸管理ができる。

胸腔ドレナージ：胸腔ドレーンの留置とドレナージを施行できる。

在宅酸素療法：適応と方法について理解し、指示できる。